

令和6年度 学校評価報告書 (目標設定・実施結果)

視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 (月 日実施)	総合評価 (月 日実施)	
			具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1 教育課程 学習指導	①課題研究による探究する力を育成するシステム構築 ②4系、1分野の教育目標の確立と総合産業科としての特色ある教育課程の実現 ③国際理解教育と先端情報教育の基礎を身に付ける教育課程の編成	①課題研究の必修化 ②各系の教育目標・生徒育成目標の見直しと、それらを踏まえた教育課程の検討 ③国際理解教育プログラムの策定、情報教育プログラムの策定	①課題研究の教育課程への位置づけと指導体制の確立 ②各系の教育目標の策定や育てたい生徒像の具体化 ③完成年度を迎えた新教育課程の検証 ④国際理解教育プログラムの策定 ⑤情報教育プログラムの策定	①課題研究が必修科目として教育課程に位置づけられたか。 ①課題研究の指導体制が確立できたか。 ②各系の教育目標が完成できたか。また、育てたい生徒の育成状況を見とる視準ができたか。 ②課題や問題点を洗い出し、改善の方向性を示せたか。 ③国際理解教育が教育課程に位置づけられたか。 ③情報教育の3年間での育成計画が完成したか。					
2 生徒指導・支援	①生徒一人ひとりの豊かな人間性を育み、社会性を身に付ける学校行事の実施 ②生徒理解に基づく生徒指導や支援、教育相談体制の確立	①各学校行事の目的と開催時期の整理 ②生徒支援体制の見直しと整理	①学校行事の目的・目標の明示化 ②各年次、SC、SSW等の連携体制の見直し	①方策を踏まえた、年間行事計画(概要を含む)が作成できたか ②退学者、生徒指導件数が減少したか。					
3 進路指導・支援	①総合産業科としての進路指導目標の策定 ②3年間を見通したキャリア支援計画の策定 ③生徒の希望する進路の実現	①総合産業科として求められる卒業生像の確立 ②3年間の進路計画の策定 ③進路希望の把握と組織的な進路支援体制の確立	①総合産業科としての人材育成の検討 ②3年間の進路指導計画の策定 ③進路ガイダンスの組織的な計画・実施	①総合産業科としての人材育成目標を示すことができたか ②進路行事を体系化して、全職員・生徒・保護者へ発信できたか。 ③生徒の進路希望が実現できたか。					
4 地域等との協働	①地域の小中学校や自治会など近隣地域との連携 ②学校の情報を広く地域に発信 ③近隣の大学(研究機関・企業)等との連携	①近隣の小中学校や地域との連携行事の開催 ②HPによる情報発信・学校説明会の開催 ③大学等との連携事業(授業等)の開催	①連携行事の開催、ボランティア参加等の実施 ②見る側に立ったHPの見直し ②学校説明会の定期的開催と内容の充実 ③高校開催行事・大学開催行事等への生徒参加、講師派遣等、大学等との連携事業の開催	①連携行事の開催、ボランティア参加等の実施ができたか。 ②HPの更新が適切にできたか。 ②学校説明会の満足度は90%を超えたか。 ②入学後の生徒の満足度は90%を超えたか。 ③大学等との連携事業が開催できたか。					
5 学校管理 学校運営	①事故・不祥事の未然防止と教職員の実践的指導力の向上 ②生徒の防災意識の向上と防災教育の推進、学校の安全管理体制の確立 ③学校行事の目的と実施体制・時期の整理 ④教員の働き方改革、ライフワークバランスの推進	①事故・不祥事ゼロ ②防災教育の実施 ②学校の安全管理 ③学校行事も含めた広義のカリキュラムの確立 ④業務の効率化に向けた改善	①事故・不祥事防止会議等の開催 ②防災教育の実施 ②学校の安全管理体制の点検 ③式典の一層の充実。関係部署との連携を密にし、円滑な行事運営のための環境整備。 ④会議の効率化と時間短縮 ④グループ間連携の推進による業務集中の緩和	①事故・不祥事がゼロであったか。 ②防災教育を実施できたか。 ②学校は安全に管理されていたか。 ②防災教育として、大規模災害時を想定した生徒・教員等の学校関係者が連携した訓練等を行うことができたか。 ④会議時間(回数)は短縮できたか。 ④グループ間の連携は推進できたか。 ④時間外勤務の軽減ができたか。					